

譜集撰特大

第四十五頁

二部合唱
野遊ひ

三部合唱
海

SEICAKUKAI

野遊ひ

犬童珠溪作歌

一、(春)

陽炎燃ゆる春の野邊に
遊ぶや胡蝶羽使もかろく
霞はかゝる嵐の山に咲けりやさくら雲かき
いざ／＼我友うち、此の日を
野べにやとく／＼出でたて
嗚呼夜半にや嵐の談はであるべき
我友とく／＼いでたて

人世は僅か五十路のほど再び来べき春やばある
遊べやのべに春の一日我等を待てり花も鳥も花も鳥も
「陽炎燃ゆる……………」
春の日よしや山に入るも燈火とりてかへらん
永き春日と誰れか云ひし。

二、(秋)

千草花咲く秋の野邊に
招くや尾花風にゆれて
見渡す山は峯も谷も紅葉そめたり錦と
いざ／＼我友聊れたる此日を
野邊にやとく／＼いでたて
あゝ頼むに難きは明日の日知ま
我友とく／＼出でたて

この世は僅か五十路のほど再び来べき秋やはある
遊べや野邊に秋の一日我等を待てり
「千草花咲く秋のべに……………」
秋の日よしや山に入るも
もみぢかざしてかへらん
小崎き裡や明く照らす。

海

文部省國定唱歌

一、松原遠く消ゆるところ
白帆の影は浮ぶ
干潮濱に高くして
鷗は低く波に飛ぶ
見よ青の海
見よ青の海
二、島山間に著きあたり
漁火光淡し
寄る波岸に響くして
浦風軽く沙吹く
見よ夜の海
見よ夜の海

昭和二年五月十五日印刷 【非賣品】

昭和二年五月二十日發行

前約年極會員に限り毎月頭賣費分配

團體加入特別扱・詳細會則照會あれ

福岡市東區匠町五二

編輯兼 成 樂 會

右代表者 原田彦四郎

振替名古屋一〇二四八番

印刷者 福岡市大學通り二丁目
樂譜印刷研究所

右代表者 大橋利康

野 遊 び

(三部合唱)

大童球溪作歌
Aug Soderman
成樂會編曲

Allegretto

mf

p

p

p

カケルモユルハルキののべにアマソフヤコ
チケグロフモユルハルキののべにアマソフヤコ
アハハカネモカヨクテカミスワミタハカカマールチ
ハナカネモカヨクテカミスワミタハカカマールチ
ナレノヤマニニモサもクミヤササクダラリクモカキト

rall

a tempo

rall

rall

a tempo

marc. ff

アガトモウララノセの
わがともはれたるこののひな
ザイザ
デタテアカラシノサソハテア
アアヨハのニセ
ルベリキヤガトモトクとくイデタテ

mp

mp

